

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	制作実習3	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科		コース名	アニメーションコース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	動画用紙、レイアウト用紙、絵コンテ用紙、タップ						
担当教員情報							
担当教員	田中 伸昭、大原 弘史			実務経験の有無・職種	有・アニメーター、アニメ撮影		
学習目的							
前期授業での技術や知識の習得を踏まえ、2年間の修学の集大成として卒業制作作品を制作する。各専攻ごとに専門分野の制作物を完成させ、統合・合成したアニメーション映像を卒業制作展や学外イベントで公開・上映を行う。制作の過程を通して各専門分野の技術をより高めることができる他、教員・講師の指導を受けながら制作グループ内やクラスメイト間のコミュニケーションを醸成することから、異なる考えや視点を得ながら共同作業を行うことで社会人基礎力を養うことができる。							
到達目標							
卒業制作を完成させる工程を通して昨年度の制作の反省や改善点を考慮しながら、制作グループ内での役割分担や仕事の配分を制作スケジュールや内容に落とし込み2年間の修学尾の集大成となる作品作りをすることで自らの技術をより伸ばすことを目標とする。 また完成した作品を様々な場所や機会を通して公開・上映し視聴者からの評価を受ける中で自らの制作特性や特徴をつかみ、他社の視点を取り入れより感性豊かな表現を学ぶことも目指す。							
教育方法等							
授業概要	卒業制作の実制作において作画・背景・仕上撮影・制作管理を中心とした専門分野別に分かれて各グループもしくは個人別に指導する。提出締め切りを守り2年間の修学の集大成となるクオリティを求める。作画班においては締め切りを守るだけではなくタイムシートの記入やレイアウトのカメラワークその他の申し送り事項が正確に記入できることを目標とする。背景班はパースや光源の方向を意識して背景作画ができること、デジタル班においては素早く正確に共同作業を行う。						
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。課題提出締め切り日を厳守のこと。時限出席率75％以下は課題を提出していても不合格となる。また著作が絡むデータを配信する為、むやみな二次配布や公に出す等取り扱いに注意する事。講義中は必ずメモを取ること。 原則スマホ使用禁止(留学生は翻訳アプリ使用の場合は事前申請のこと) 作成したデータの保存の為、外部記憶媒体(HDD等)が必須。※外部記憶媒体は仕上志望32GB以上撮影志望120GB以上推奨						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題	70%	課題を総合的に評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート						
	成果発表 (口頭・実技)						
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
作画・美術班 授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション、ワークフロー			卒業制作をすすめるにあたってレイアウト・原画作業のワークフローを把握する			
2回	卒業制作 作画打ち合わせについて			作画打ち合わせからコミュニケーション、すり合わせの方法をつかむ			
3回	卒業制作 応用絵コンテ・レイアウト(1)			絵コンテから演出意図、構図をつかみレイアウトにおこす			
4回	卒業制作 応用絵コンテ・レイアウト(2)			絵コンテの修正や、疑問点を解決する方法を学びレイアウト修正作業ができる			
5回	卒業制作（応用レイアウト・原画）			レイアウトを制作し演出チェックから不足部分を把握できる			
6回	卒業制作中間チェック(1) 作画スケジュール			スケジュールから現状の進捗を把握し、予定を立て直す			
7回	卒業制作 応用レイアウト・原画(1)			レイアウト制作、原画制作からタイムシートの記入方法を復習する			
8回	卒業制作 応用レイアウト・原画(2)			レイアウト制作、原画制作から運動とパースの表現方法をつかむ			
9回	卒業制作 応用レイアウト・原画(3)			レイアウト制作、原画制作から運動と演技の表現方法をつかむ			
10回	卒業制作 原画・動画チェック作業			原画・動画チェック作業から修正点を見つけ、制作グループのメンバーで共有できる			
11回	卒業制作中間チェック(2) ラッシュチェック			レイアウト・原画・動画の進捗チェックとプレビューから修正点と今後の予定を確認し修正する			
12回	卒業制作 応用レイアウト・原画(4)			レイアウト制作、原画制作、動画制作から質感の表現方法を学ぶ			
13回	卒業制作 応用レイアウト・原画(5)			原画制作、動画制作、動画制作から光と影の表現法を学ぶ			
14回	卒業制作リテイク 原画・動画			作画箇所不足部分や修正点を直して仕上撮影部署とも連携作業できる			
15回	完パケ上映、まとめ			完成プレビューを行い講評から今後の課題を見つける			

デジタル班 授業計画（1回～15回）		
回	授業内容	各回の到達目標
1回	コンテ撮プレビュー(チェック作業)	絵コンテ各カットの映像素材をプレビューし1本の映像にする
2回	CT(カッティング)反映作業	カット毎調整された尺を素材(カット毎のタイムシート)等に反映する
3回	作品打ち合わせ	全部署集まって作品の理解や素材作成方法の理解
4回	各部署香盤表作成	全体の香盤表以外にも仕上げ香盤表(色指定)撮影香盤表(シーン処理)作成部署内の作業や映像統一の為
5回	色テスト(TVモニターチェック)	キャラ設定とイメージボードを使用した色彩設定をTVモニターチェック
6回	シーン処理(TVモニターチェック)	キャラ設定とイメージボードを使用した色彩設定を元に撮影によるエフェクトをTVモニターチェック
7回	処理統一の為エフェクト説明	シーン処理やエフェクトを撮影監督が全員に説明
8回	声優オーディションプレゼン資料	声優オーディションプレゼン用資料(キャラクター設定、アフレコ台本)の理解
9回	AR(アフレコ)前差し替え	AR時に使用する映像作成(声優さんの演技に必要な素材)の理解
10回	DB(ダビング)音声効果音入れ	音声や効果音を映像に合わせて入れ、プレビュー確認ができる
11回	本編リテイク出し	DB後の映像を全部署でチェックしリテイク選別作業の理解
12回	中間発表&納品	制作スケジュールや映像データの発表や納品
13回	作品DVDジャケット作成	ジャケットデザイン・盤面デザインの作成
14回	作品ポスター作成	作品キービジュアル作成
15回	本納品	完成映像データ提出

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	制作実習3	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科		コース名	キャラクターデザインコース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	参考書・参考資料は、授業中に指示する						
担当教員情報							
担当教員	中村 みどり、熊川 敬亮			実務経験の有無・職種	プランナー・デザイナー・イラストレーター		
学習目的							
2年間を通して身に着けた技術の成果を作品にし、展示・発表を行う。 また、仕事における「計画」の重要性を理解し、一つのプロジェクトに対して計画的な制作進行を出来るようになる。そして、自身のアイデアを相手に伝えること、計画通りの制作を進める事の難しさ、大切さを学ぶことがねらいである。							
到達目標							
プロデュース・作画・スケジューリング・制作作業・プレゼンテーションなどの総合力を身に着け、実際のビジネスにおける作品提案に近いプレゼン・展示を目標とする。また、学生がテーマを考案・スケジューリングし、矛盾の無い企画を打ち立て、これまでに学んだイラスト制作スキルを活かしてプロジェクトを完成することを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	企画・計画のフェーズと制作作業フェーズの両方を重要なポイントとしている。単にイラストを描くだけでなく、自身の行っている作業がテーマ・計画に合っているかを意識しながら授業を進める。この授業に参加する学生がプロジェクトの進め方を把握し、完成できることを目指す。						
注意点	忘れ物をしない事。課題提出締め切り日は守る事。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。作画は量なので、とにかく多く描けるように努力すること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	60%	課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる課題内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	卒業制作(企画・予定発表)			前期後半に卒業制作の概要を説明・配布→各自おおまかな企画を作成し、後期初めに発表する。			
2回	卒業制作			制作開始			
3回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
4回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
5回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
6回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
7回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
8回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
9回	卒業制作			デジタル上における作品の完成を目指す(プレゼン可能な完成度)			
10回	卒業制作(プレゼンテーション)			プロジェクトによるプレゼンテーションを行う。			
11回	卒業制作(ブラッシュアップ)			完成させる作業・出力・ボード制作・外部発注			
12回	卒業制作(ブラッシュアップ)			完成させる作業・出力・ボード制作・外部発注			
13回	卒業制作(出力・制作)			出力・ボード制作・納品作品のチェックと展示準備			
14回	卒業制作(展示準備)			完成・納品作品のチェックと展示準備			
15回	卒業制作(展示準備)			完成・納品作品のチェックと展示準備			

授業計画（１６回～３０回）		
回	授業内容	各回の到達目標
１６回	卒業制作_スケジュールリング	実務レベルでの計画立案ができる。
１７回	卒業制作_内容・計画チェック(1)	論理的に説明する力を養う。
１８回	卒業制作_内容・計画チェック(2)	論理的に説明する力を養う。
１９回	卒業制作_作品制作(1)	卒業制作展用の作品を完成する。
２０回	卒業制作_作品制作(2)	卒業制作展用の作品を完成する。
２１回	卒業制作_作品制作(3)	卒業制作展用の作品を完成する。
２２回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(1)	実務レベルの制作進行力を養う。
２３回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(2)	実務レベルの制作進行力を養う。
２４回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(3)	実務レベルの制作進行力を養う。
２５回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(4)	実務レベルの制作進行力を養う。
２６回	卒業制作_作品制作(4)	卒業制作展用の作品を完成する。
２７回	卒業制作_作品制作(5)	卒業制作展用の作品を完成する。
２８回	卒業制作_作品制作(6)	卒業制作展用の作品を完成する。
２９回	卒業制作_作品制作(7)	卒業制作展用の作品を完成する。
３０回	卒業制作_作品制作(8)	卒業制作展用の作品を完成する。

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	制作実習3
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科	コース名	マンガコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	井上 篤史		実務経験の有無・職種	有・マンガ制作	
学習目的					
自らテーマと物語を選択し、ページ数を決め、作品を完成させる。そのために、自分の実力を分析し、完成させることが可能な物語を決定する。また、完成した原稿の発表先をどうするか、あらかじめ決定しておき、作品制作がもたらす影響と効果を体感することを目的とする。					
到達目標					
理想的な到達目標は、商業的な実績の確立とする。ただし、これは必ずしもプロの作家としてデビューすること、または新人賞を受賞することを意味しない。SNSにおいてフォロワーを獲得する等、作品の発信をし、反応を得ることができれば目標到達とする。					
教育方法等					
授業概要	自由にテーマとページ数を選び、作品を制作する。アナログでネームを進め、仕上げはデジタルで行う。				
注意点	作画資料や画材は各自用意する事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	作品の完成度によって評価する。		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	50%	授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	自由テーマ課題制作(1)		自分で自由にテーマを選び、作品を制作する。プロットの作成。質感の表現。		
2回	自由テーマ課題制作(2)		プロットの制作。強調すべきポイントについて。フォトバッシュについて(1)		
3回	自由テーマ課題制作(3)		ネームの制作。固有の名称について。		
4回	自由テーマ課題制作(4)		ネームの制作。表情の描き分けについて。		
5回	自由テーマ課題制作(5)		下描き(1)。俯瞰とアオリ。		
6回	自由テーマ課題制作(6)		下描き(2)。アイレベルについて。		
7回	自由テーマ課題制作(7)		下描き(3)。キャラクターからパースを起こす。		
8回	自由テーマ課題制作(8)		下描き(4)。トレースについて。		
9回	自由テーマ課題制作(9)		ペン入れ(1)。アウトライン		
10回	自由テーマ課題制作(10)		ペン入れ(2)。ディテール		
11回	自由テーマ課題制作(11)		ペン入れ(3)。背景		
12回	自由テーマ課題制作(12)		仕上げ(1)。ベタ・トーン。		
13回	自由テーマ課題制作(13)		仕上げ(2)。トーン		
14回	自由テーマ課題制作(14)		仕上げ。完成。		
15回	自由テーマ課題制作(15)		講評。		